

富山が育んだ

少年時代

小説・漫画・映画が描く

疎開少年の

長い道

会期／平成24年12月8日(土)～平成25年2月25日(月)

休館日／火曜日・年末年始12月28日～1月4日

展示観覧料／500円

※高校生以下無料

企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。



平成24年度
文化庁地域発・文化芸術創造発信
イニシアチブ

【柏原兵三画】



漫画『少年時代』(中央公論新社)



小説『長い道』(講談社)



映画『少年時代』(©1990『少年時代』製作委員会)

富山が育んだ少年時代

—小説・漫画・映画が描く疎開少年の長い道—

太平洋戦争の末期、東京から富山県入善町に縁故疎開してきた少年の苦渋に満ちた疎開生活を描く、柏原兵三の小説『長い道』。同様の疎開体験を持つ藤子不二雄[Ⓐ]は、この物語から受けた感動を、漫画『少年時代』として描き、さらに篠田正浩監督・山田太一脚本による映画『少年時代』として結晶させました。

富山の豊かな自然のなかで、少年たちは衝突と葛藤を繰り返しながら成長していきます。本展では、小説、漫画、映画という3つの手法により描かれたこれらの作品が誕生するまでの過程をたどり、作品世界の魅力と作り手たちの思いを読み解きます。

【参加型企画】「私の少年時代」 —ハガキに描く子ども時代の記憶—

高志の国文学館では、今回の企画展のタイトルにあわせ、県内外の皆様から上記のテーマにもとづいたハガキを募集します。募集開始は12月3日です。(1月末日まで受付)

郵便ハガキの裏に a、文章のみ b、写真 c、絵またはイラストのいずれかで、あなたの子ども時代の記憶を紹介してください。ただし、b、cについてはハガキの表下半分に制作コメントを添えて下さい。お寄せいただいたハガキは、企画展の会期中、当館内に展示させていただきます。

- (ご注意) 1. お寄せいただいたハガキは返却いたしません。
2. 内容によって展示できない場合がありますのでご了承ください。
3. 匿名での展示をご希望の場合は、その旨、明記してください。

○宛先は 〒930-0095 富山市舟橋南町2-22
高志の国文学館 「私の少年時代」係 (年令・性別は問いません)

【関連講演会】

- 12月23日(日)「昔、学童疎開があった頃—柏原兵三と藤子不二雄[Ⓐ]の少年時代—」
須山 盛彰 氏(富山県郷土史会 副会長)
1月13日(日)「柏原兵三『長い道』、藤子不二雄[Ⓐ]『少年時代』、篠田正浩監督『少年時代』」
八木 光昭 氏(聖徳大学人文学部 教授)
2月3日(日)「映画『少年時代』の少年捜し」
久保 勲 氏(富山映画サークル事務局長)

会場と時間: いずれも高志の国文学館(研修室101) 14:00~15:30
受講料: 無料 事前の申し込みは不要です



柏原兵三『長い道』原稿
(同人誌『運河』に発表されたもの)



柏原兵三『大東亜戦争日記』
(昭和18年~19年)



雑誌『少年マガジン』
(漫画『少年時代』連載開始号)



映画『少年時代』スチール



映画『少年時代』で使用された小道具
(戦艦陸奥のバツクル)

会期中の土日を中心に、藤子不二雄[Ⓐ]先生が『少年時代』について語るビデオを上映いたします。詳しくはホームページ(<http://www.koshibun.jp/>)にてお知らせします。

会期	平成24年12月8日(土)~平成25年2月25日(月)
開館時間	『展示部門』9:30~17:00(入館は16:30まで)
展示観覧料	500円(常設展のみは200円) ※高校生以下は観覧無料 企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。
休館日	火曜日、年末年始12月28日~1月4日

